

# 第1回 服薬教室



服薬教室の目標、「服薬状況・症状自己評価チェック表」の付け方を知る

## ◇進め方

1. 挨拶
2. 服薬教室の導入
3. 今日の内容の紹介
4. ビデオ視聴（第1-1回ビデオ）
5. 質疑応答
6. ロールプレイ
7. 質問がないか尋ねる
8. ビデオ視聴（第1-2回ビデオ）
9. 質問がないか尋ねる
10. 宿題の設定と次回の予定確認

## ◇挨拶と服薬教室の導入・説明

<〇〇さんの自宅で>

〇〇さんこんにちは。訪問スタッフの△△です。

前回の面接で、薬についての思い、良かった点、困ったことなどをお聞きしました。〇〇さんは、薬についていろいろと疑問があるようですね。

今後の訪問では、薬についての疑問を解決して正しく服用できるよう、一緒に薬について学んでいきましょう。

このタブレットで「服薬教室」のビデオを観ながら学びます。ビデオを観た後にポイントを幾つか質問をさせていただきます。そして簡単なロールプレイをしてみましょう。

分かりやすいテキストがありますので、分からないことがあったら、いつでも質問してください。よろしいですか？

<発言を聞き、ワークブックを手渡します。>

では、ワークブックをお渡しします。『第1回服薬教室』のところを開いてください。

## ◇今日の内容の紹介

今日は、なぜ薬について学ぶ必要があるのかということ、そして服薬状況や体調のチェックの方法について学びます。

これからビデオを観ていただきますが、服薬教室の基本となる内容です。

観終わったあとで、ここにあるような質問をしますので、注意して観てください。

<ワークブックの『第1回服薬教室』を示します。>

## ◇ビデオ視聴（第1-1回）

<タブレットで、『第1-1回服薬教室ビデオ』を観ます。>

<理解を確かめながら、繰り返し観るのもよいでしょう。>

## ◇質疑応答

いかがですか。もう一度ビデオを観ますか？

では、先ほど示した質問をしますが、よろしいでしょうか。

**Q1. この教室の目標は何でしょうか？**

（自分の薬について知り、正しく飲むことでよい効果を得られるようになる。）

**Q2. なぜ薬について学ぶ必要があるのでしょうか？**

（自分が薬を飲むときに、薬のよい効果を得るための十分な情報を知るため。）

**Q3. 目標を達成することで得られるメリットにはどんなことがありますか？**

- （・症状を和らげる、  
・再発や再入院を減らして、よい状態でいられる、  
・他の治療プログラムにも参加しやすくなり、社会参加の機会が増える、  
・正しく飲むことで副作用を最小限に抑える。）

<答えにつまった時は、タブレットで『第1回服薬教室（回答付き）』を示します。>

ここまでの内容について何か質問はありませんか？

## ◇ロールプレイ

<今回の内容について、ロールプレイをします。役割交換をして、スタッフが薬を飲んでいる患者役に、利用者が薬の専門家役になります。>

ではこれからロールプレイをしましょう。ロールプレイについてはご存知ですか？

<ロールプレイについて知らない場合は、資料\*\*を使って、簡単に説明します。>

ロールプレイで練習することは、今後〇〇さんが薬を飲んだり、服薬を管理したりする際にとっても役立ちます。二人でやってみましょう。

<場面設定>

ここを病院の相談室としましょう。患者さんが『服薬教室の目標』について、薬の専門家に聞いている場面です。

<役割設定>

〇〇さんは、『服薬教室の目標』について説明する薬の専門家になってください。私は専門家に質問する患者さんの役をします。

<目的把握>

患者役の私が質問しますから、『服薬教室の目標』について説明してくださいね。

<ロールプレイ>

では、始めましょう。はい。<手をたたく。一拍おいて>

「先生、質問があるのですが、いいですか？ 服薬教室の目標って何ですか？」

(自分の薬について知り、正しく飲みことでよい効果を得られるようになることです。)

<時間があれば、Q2、Q3についても行います。>

<手をたたく、一拍おいて>はい、ありがとうございます。

<正のフィードバック（良かった所を具体的に挙げてほめてください）>

〇〇さんの説明は、要点をつかんで、はっきり説明できていたので、とてもよくわかりました。

## ◇質問がないか尋ねる

今日の内容について何か質問はありませんか？

<質問に答え、必要があればビデオを観なおします。>

今日学んだ内容のまとめです。ワークブックと一緒に保管しておいてください。

### ◇服薬教室ビデオ第1-2回の視聴

今日はもう一つのビデオを観ていただきます。

これから、毎日記入していただく『服薬と症状のチェック表』の使い方について説明しています。このチェック表を確認しながらビデオを観てください。

<『服薬状況・症状自己評価チェック表』を手渡します。>

<タブレットで、『服薬教室ビデオ第1-2回』を観ます。>

どうですか？ 付け方は分かりましたか？

<理解の程度により、説明を加えます。>

なぜ、チェック表をつける必要があるのかについてはいかがですか。

(服薬の状況と毎日の体調を記録して確認するためです。)

では、今日の服薬状況と症状について、チェックする練習をしましょう。

<実際にチェック表に記入してもらいます。>

### ◇質問がないか尋ねる

チェック表の使い方、何か質問はありませんか？

<質問に答え、必要があればビデオを観なおします。>

### ◇宿題の設定と次回の予定確認

チェック表は、今日から毎日記入して次回の訪問の時にみせてください。

それを次回までの宿題としましょう。

次回の予定は、\_\_\_日の\_\_\_時からです。